

正太寺通信

第1号

創刊のいきなり

副住職の正哲です。このたび、正太寺通信を創刊することとなりましたので、ごあいさつ申し上げます。

よそのお寺では、お寺の動きや住職の法話を掲載した寺報を、年に数回発行しているところがあります。最近ではパソコンを使って簡単にこうしたものを作成できるようになったことも影響していると思われます。そこへいくと我が正太寺は、ご存じの方が多くよくにパソコンに詳しい、にもかかわらず今まで寺報が無かったのは、さぼっていたと言われても仕方ありません。実際には、住職は外から頂くお役に、私はボランティアに、それぞれ時間を費やしていたためですけれども。

つてしまいます。せめて、正太寺として何をお伝えしなくては、またどのような動きをしているかをお知らせするものが必要だと、ようやく感じ始めました。

そこで、正太寺通信を創刊し、法話はもちろん、仏教行事の解説やちよつとした豆知識、その他諸々のお知らせを掲載していこうと思えます。まずは第1号をお届けします。発行時期は不定期ですが、慣れるにしたがつて定期的に発行できるようにと考えていきます。よろしくお願いいたします。

お葬式って？

連載① 髪を剃る

正太寺通信の初記事を飾るのは、お葬式についてです。曹洞宗の葬儀は、実は出家してから仏様になるまでの過程をぎゅうつと凝縮したものなのです。今号から何回かに分けて、なるべく分かりやすく解説してい

きます。第一回目は、剃髪（ていはつ）です。髪を剃っていわゆる坊主頭にすることです。

剃髪は、出家の準備です。葬儀では、念誦様が剃髪の偈（げ）、浄髪の偈という偈文をお唱えしながらカミソリで髪を落とす真似をします。時間の限られた葬儀の場で実際に髪を落とすことは出来ないため、こうして真似ごとをするのです。

剃髪の偈「流転三界中 恩愛不能断 棄恩入無為 眞実報恩者」（るてんさんかいちゆう おんないふのうだん きおんにゆうむいしんじつほうおんしゃ）

迷いの世界に生々流転しつづけて、恩愛は経ち難いものです。世俗の恩を捨てて世間的目的を捨てた仏の世界に入ることこそ、眞実の恩に報いる人です。

浄髪の偈「剃除鬚髮 当願衆生 永離煩惱 究竟寂滅」（ていじよしゆほつとうがんしゆじよう ようりぼんのう くぎようじやくめつ）髪とヒゲを剃り除き、まさに祈るところは人々と共に、永遠に煩惱を離れ、静寂涅槃を完成します

ように。

剃髪の偈は僧侶が初めて仏門に入るときに行う剃髪の時にお唱えし、浄髪の偈は普段の剃髪の時にお唱えする偈文です。こうしてお唱えしながら髪を剃ることで、人々と共に煩惱を離れ涅槃に入るといふ願いを忘れずに修行を行い続けることが出来るのです。

本来は髪を剃られる側、つまり故人がお唱えしなくてはならない偈文ですが、故人に成り代わり、念誦様がお唱えくださります。剃髪が済むと、出家に臨む体の準備は整ったところになります。ここから、いよいよ本番なのです。が、続きは次号となります。お楽しみに。

月と星と・・・

今年も聴けませう！

昨年9月に開催されたアンサンブルコンサートが今年も開催されることになりました。昨年と同じくフェスティバルアンサンブルの皆さんに、正太寺本堂で「いつかどこかで出会ったあの曲を」月と星と・・・ in 正太寺」

と題して新世界やジュピターといった名曲を始め、どこかで出会ったことのある曲を披露していただきたいと思います。ご家族ご友人お誘い合わせの上ぜひお越しください。

とき 十月一日
午後七時開演
会場 正太寺本堂
入場無料！
主催 カジュアルコンサート

（このコンサートは「湖西市文化の香るこだわり事業」に認定されています。）

なぜイラストがないの？

正太寺通信をパッと見て一番に思うことが、絵が何もないことでしょうか。なぜ一枚も絵がないかと言うと、それはね・・・副住職に絵心が無いからです。だれかカット絵をください。

発行人 曹洞宗宇津山正太寺
住職 穴水春男
静岡県湖西市入出八〇〇番地
電話〇五三一五七八一〇〇四九
http://www.shotaiji.or.jp/
info@shotaiji.or.jp